

氏名	鮎野清
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙第1285号
学位授与の日付	昭和57年3月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	死体における血液および尿アルコール濃度に関する法医学的研究
論文審査委員	教授 産賀敏彦 教授 佐伯清美 教授 栗井通泰

学位論文内容の要旨

剖検死体の alcohol 検査を行い、生前における飲酒の有無、量および酩酊度を推定することは法医学上重要である。しかし、死体では生体と異なる幾多の問題があり、判断は容易でない。著者は GC による ethanol の定量法を用い、飲酒後の血液および尿濃度の経時的変化、尿／血液濃度の比、ethanol と n-propanol の死後産生、死体に産生する alcohol 類、飲酒者の死体における血中 ethanol 濃度の変動などの動物実験を行い、えられた結果をもとに人体剖検例の ethanol 濃度について検討、考察した。その結果、心臓血および尿 ethanol 濃度を測定し、両者を比較することにより、飲酒の有無や量ばかりでなく、飲酒後死亡まで、あるいは受傷後死亡までの経過時間など死亡時の状況判断に役立つこと、また ethanol と同時に n-propanol を測定することにより、死体に検出された ethanol が生前の飲酒のみか、生前の飲酒に死後産生の ethanol が加わったものか、あるいは死後産生 ethanol のみかを識別することが可能なことを明らかにした。

論文審査の結果の要旨

本研究は死体におけるアルコールに関する研究であるが、血液および尿中エタノールの濃度変化、濃度比、死後産生各種アルコール類の濃度変化等に関して法医学上重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。